

# スタートカリキュラム

～2018年度の取組と反省～



2018 中津市立三保小学校・幼稚園

# 2018 三保小学校スタートカリキュラム構想図

三保幼稚園の子供たちは、どんな様子だろう？

## 【入学してくる子供の様子】

～幼稚園との連携～

- 意欲的に活動
- 全員での活動の振り返り
- 少人数の学級
- 伝え合うことへの戸惑い
- 人との関わりの少なさ

## 【ねらい】

- ・幼児期における生活に近い活動や環境の工夫で人と関わる活動を位置付け、安心感を持てるようにすること
- ・安心して自分の力を発揮し、成長への意欲を高めること
- ・自分で考え、判断し行動するという学びのプロセスで、学習者として自立していくこと
- ・全ての教職員が子供たちと関わりを持つために、学校全体の取組として考えること

## 【スタートカリキュラム編成の基本姿勢】

- ①一人一人の子供の成長の姿から編成する
- ②子供の発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫する
- ③安心して自ら学びを広げる学習環境を整える
- ④生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図る

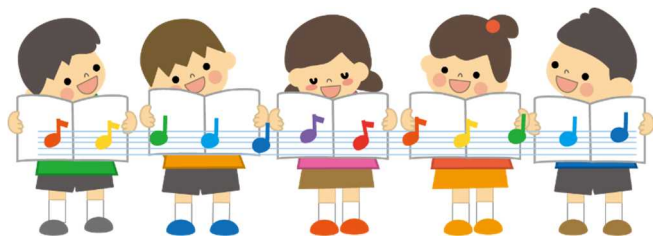
## 【めざす児童の姿】

- ・安心して自分を発揮できる子供
- ・新しい学級や学校のルールを受け入れ、みんなと楽しく過ごせる子供
- ・学習への興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組む子供

こんな子供たちに…

## 【週あたりのねらい】

- 第1週 学校生活の様子が分かる
- 第2週 楽しく意欲的に学校生活を送ることができる
- 第3週 友達と仲良く過ごすことができる
- 第4週 きまりを守って落ち着いて過ごすことができる
- 第5週 これからの学習に興味を持つことができる



# 「スタートカリキュラム」実践の反省

## 1 スタートカリキュラムのねらい

- ・幼児期における生活に近い活動や環境の工夫で人と関わる活動を位置付け、安心感を持てるようにすること
- ・安心して自分の力を発揮し、成長への意欲を高めること
- ・自分で考え、判断し行動するという学びのプロセスで、学習者として自立していくこと
- ・全ての教職員が子供たちと関わりを持つために、学校全体の取組として考えること

## 2 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」	三保幼稚園 園児の育ちの姿
健康な心と体	心と体を十分に働かせながら自分のやりたいことに取り組み、見通しを持って生活する
自立心	身近な環境に主体的に関わりながら、自分のしなければならぬことが分かり諦めずにやり遂げる
協同性	友達との関わりの中でお互いの思いを共有し、一緒に工夫したり協力したりする
道徳性・規範意識の芽生え	生活の中でして良いことや悪いことが分かり、友達の気持ちを理解したり自分の気持ちに折り合いを付けたりするようになる
社会生活との関わり	自分の生活に関係の深い人々や情報に関心を持って関わる
思考力の芽生え	友達と一緒に身近な環境に好奇心を持って関わり、予想したり確かめたり振り返ったりする
自然との関わり・生命尊重	身近な自然に触れ、季節や生活の変化に気付くと共に身近な動植物を大切にする気持ちを持つ
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で数量や文字などに親しみ、遊びの中に取り入れる
言葉による伝え合い	経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして対話を楽しむ
豊かな感性と表現	感動したことや思いめぐらしたことを自分で表現したり、友達と一緒に表現したりすることを楽しむ

## 3 円滑な接続のための話し合い

三保幼稚園との情報交換で、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について話し合う中で、幼稚園では「社会生活との関わり」について保護者や祖父母、小学生と関わる活動は多いが、地域の人と触れ合う活動が少ないことが出された。また「言葉による伝え合い」についても、遊びの中では自分の思いを発することができる子供たちが、全体の場で話すとなると、どう表現すればよいか戸惑ってしまい伝えられないという場面が多く見られるということであった。これらのことを受けて、スタートカリキュラムでまずは担任以外の先生たちとの関わりを十分に持てるようにし、順次他学年や地域の人々との交流も位置付けていきたい。また、様々なツールを使って相手に伝える場を設定し、伝え合いの手助けにしたいと考えている。

## 4 スタートカリキュラム編成の基本姿勢

幼稚園における遊びを通した総合的な学びは、遊びや生活の中で、感性を働かせてよさや美しさを感じ取ったり、不思議さに気付いたり、できるようになったことなどを使いながら、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることなどを通じて育まれる。そうした学びを、小学校の生活科を中心とした学習において発揮できるようにし、自然に他教科の学習へとつながっていくようにする。また、小学校という新たな環境の中で、進んで自分らしさを表出し自分の持っている力を働かせ、自分の課題に向けて計画的に学んでいくようにする。

## (1)一人一人の子供の成長の姿から編成する

〈幼稚園や保育所と情報交換を行い、子供の育ちを踏まえ、カリキュラムを作成していく。〉

## (2)子供の発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫する

〈弾力的な時間割の工夫により、モジュールで時間割を構成したり活動性のある学習活動を行ったりする。〉

- ・朝の活動として「なかよしタイム」を設け、幼児期に親しんできた手遊びや歌、リズムに乗って体を動かすことや絵本の読み聞かせ、児童からのお話タイムなど、児童が一日の始まりを楽しい気持ちで迎えらるような学習活動を取り入れる。



登校後、道具の片付けがすんだら

・ほんよみ

・ぬりえ

・おりがみ

・おえかき

などをしてすごす

朝の準備がすんだら、子供たちは自主的に自分のやりたい活動に取り組み、落ち着いて一日を過ごせるようにした。また教室の後ろに低いテーブルを置き、自由に材料をとらせしたが、終わった後の片付けまでできるように促した。絵をかくことに抵抗のある子にとって、ぬりえは友達と相談しながら色を決めたりオリジナルの色を工夫したりして、じつくりと落ち着いて取り組めたようだ。折り紙は、一人の子がおもしろいものを作ると周りの子も話を聞いて作っていくなど連鎖的に広がり、それと共に話をする友達も増えていったようだった。紙飛行機・虫・えんぴつ・といった具合で作る物が増え、多くの子に広がっていった。幼稚園でも、できるところまでは自分で折り、その後友達と教え合う様子が見られていたようだ。

教室の後ろのテーブルは2つ、1つ・自分の机というように、だんだんと自分の机・いすで活動できるようにしていった。

- ・教職員全体で読み聞かせを行い、全ての子供と関わっていく。



巻物を用意するなど、他の学年の教職員が工夫をして読み聞かせをおこなった。



子供たちは、読み聞かせが大好きである。読んでもらった本を知っている子も多く、幼稚園や保育園の時に園でたくさん読み聞かせをしてもらったことが分かる。また、お話を聞いて次のストーリーを思い描いたり、言葉のおもしろさを感じ取ったりして、お話に引き込まれていく様子が分かった。朝、心豊かに過ごせる時間を確保するということは、1年生にとって大事な時間だと感じた。しかも、いろいろな先生から読み聞かせをもらうことで、先生たちに親しみを持つことができ、一石二鳥であった。

・生活科との関連を図るところは、時間枠をつなげて行うこともある。



生活科と図画工作科の合科「みなさんよろしく」で、名刺を作り交換した。

途中休憩をはさみながら、2時間の時間枠をつなげて「みなさんよろしく」の活動を行った。名刺には自分の名前・顔・好きなものの絵や名前などをかき、友達と交流したい思いを次の時間につなげて名刺交換の活動を行うことで、意欲的に取り組めたようだ。

・教科に関しては、モジュール(15分程度)に分けて行うこともある。



1時間の授業を分けて、前半は国語科の「はじめてかくじぶんのなまえ」を行い、後半で生活科の「どうぞよろしくじこしょうかい」を行った。

書く活動と発表する活動を1時間の枠の中で国語科と生活科にカウントして行うことで、合科的に学習することができた。

・1, 2校時は、合科的な学びの充実の時間とする。



生活科「グループにわかれてたんけんに行こう」と図画工作科「見つけたものを絵にかこう」を1, 2校時に行った。

国語科「声の大きさどうするの」と生活科「分かったことを発表しよう」を1, 2校時に行った。



朝の「なかよしタイム」が終わり、落ち着いた時間の1, 2校時に、体を動かしたり、声を出したりする活動を続けて仕組むことは、子供たちの意欲の持続に繋がりが効果的だったと思われる。特に、生活科で活動したことを、絵にかいたり発表したりする場合は、子供たちの思いや願いが残っているうちに、次の活動につなげていくことが、1年生の子供たちにとっては、大切ではないかと思われる。

### (3) 安心して自ら学びを広げる学習環境を整える

〈子供の実態を踏まえる・人間関係が豊かに広がる・学習のきっかけが生まれるなどの視点で学習環境を整える。〉

・いすに座ったままではなく、主体的な学びができる場所の確保(机やいすの位置)や教具の準備をする。



「なかよしタイム」で興味を子供たちが持った『紙飛行機』を体育館に行き、みんなで作って飛ばした。

生活科「がっこうだいすき」で、分かったことを発表する前に、低テーブルにおいた写真で確認した。

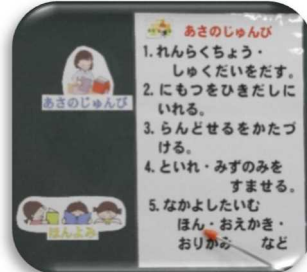


「なかよしタイム」の効果からか、子供たちが自主的に活動を仕組む場面が多く見られた。例えば、一人の子が紙飛行機づくりに熱中しだすと、周りの子が次々に興味を示し、教え合ったり競い合ったりした。そこで、子供の「紙飛行機をとばしたい」という声から、広い体育館に場所を移し、紙飛行機を折って飛ばすことにした。このとき、他園から来た子供たちも声を掛け合い、一緒に紙飛行機を作る様子が見られた。また、生活科の学習では柵や低テーブルを利用し、写真や本などを、見やすい位置に準備したことで、どの子も活用する様子が見られた。

・活動や時間等が視覚的に確認できる環境(活動の流れの掲示や時間を意識できる時計)を整える。



「なかよしタイム」で、することを書いたカード



登校した時の活動を書いたカード



時計を見ながら朝の活動の流れを知るボード



牛乳の片付け方

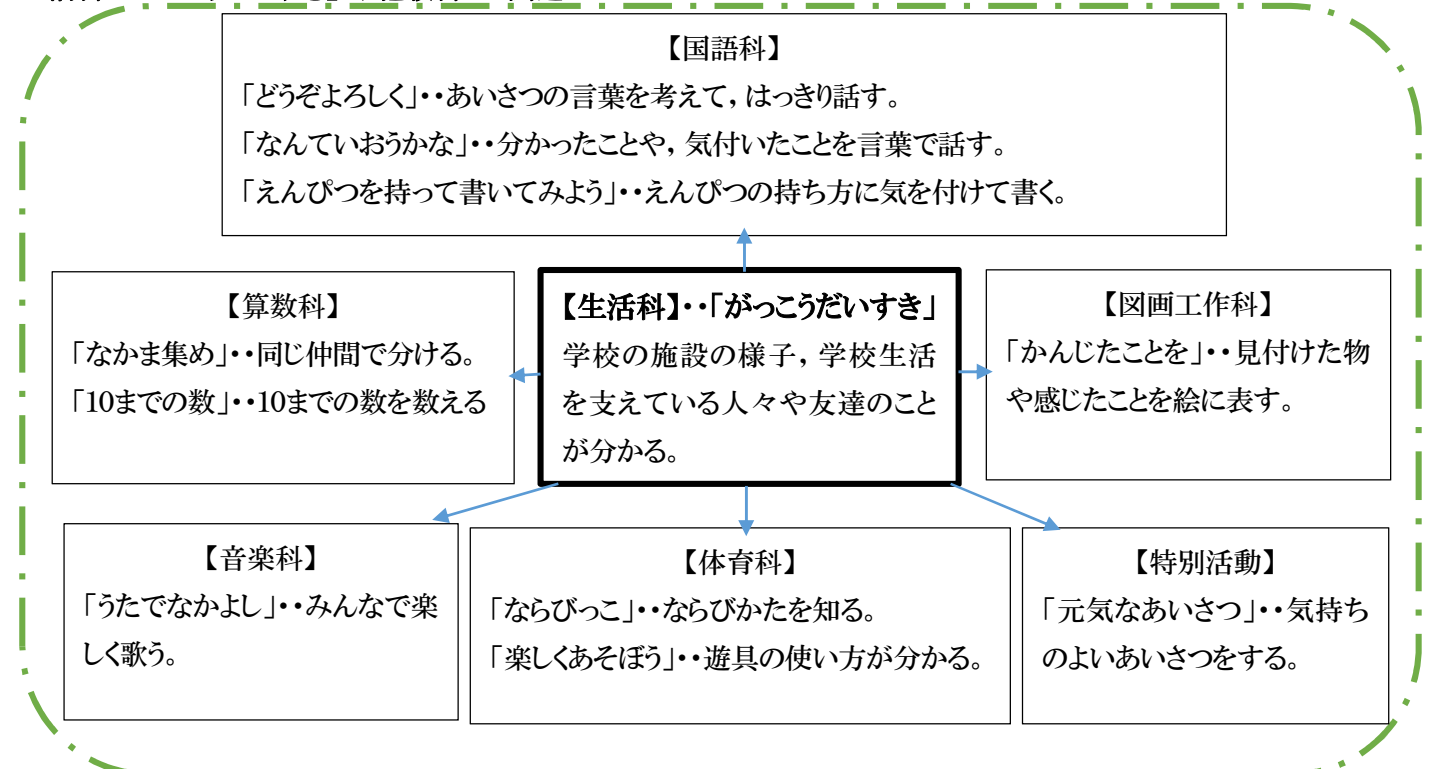
入学して間もなくは朝、登校したら、自分たちがどんな活動をすればよいか分かるようなカードやボードを掲示していた。まだ、ひらがなを読めない子もいるので、絵で示したり簡易時計を用いたりしたが、ひらがなで書いていても、字を読むことができる子が大きな声で読んでくれるなどして、伝わったと思われる。しかし、文字が多かったり時計の数が多かったりして見づらいこともあったので、その都度改良していった。

#### (4)生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図る

〈総合的に学ぶ子供の発達の特性を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫を図る。〉

- ・生活科「学校探検・校庭探検」を中心に、他教科のねらいを考へて、合科的・関連的に単元を構成していく。
- ・直接体験を通して、生活上必要な技能等を身に付けられるようにする。

#### ○生活科「がっこうだいすき」と、他教科との関連



5 生活科を中心としたスタートカリキュラム

主な活動	生活科を中心とした活動	他教科との関連
<p><b>第1週</b> <u>入学式</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・自己紹介をしよう</li> </ul> <p>・道具のしまい方</p> <p>・トイレの使い方</p> <p>・下校コースの確認</p> <p>・給食のお話, 手を洗おう・ナプキンをしよう</p>	<p style="text-align: center;">小学校ってどんなところかな どんなところがあるか行ってみたいよ</p> <p style="text-align: center; border: 2px dashed black; padding: 5px;">がっこう だいすき</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">学校を探検しよう</p> <p>◎<u>学校の中を見てみよう(体験)</u> トイレの使い方・職員室の入り方・保健室の利用の仕方</p> <p>◎<u>もっとくわしく見てみたいよ, もう一度探検したいな(思いや願い)</u> 給食室には何があるのかな 給食の準備の仕方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語 「どうぞよろしく」</li> <li>・音楽 「うたでなかよし」</li> <li>・算数 「なかま集め」</li> </ul>
<p><b>第2週</b> <u>対面式</u> <u>お迎え遠足</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の準備(当番)</li> <li>・遊具の使い方</li> <li>・掃除の仕方</li> </ul>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">校庭を探検しよう</p> <p>◎<u>校庭に飛び出そう(体験)</u> 遊具の安全な使い方</p> <p>◎<u>校庭で見付けたよ(気付き)</u> いろいろな草花や虫を見付けたよ</p> <p>◎<u>見付けたことを絵に描こう(感じる・考える)</u> どんな形や色だったかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育 「ならびっこ」</li> <li>・算数 「10までのかず」</li> <li>・図工 「かんじたことを」</li> </ul>
<p><b>第3週</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の使い方</li> </ul>	<p>◎<u>分かったことを発表しよう(表現する)</u> 言葉で伝えよう</p> <p>◎<u>見付けたものを調べよう(感じる・考える)</u> 図書室に行って図鑑で調べてみよう(図書室の使い方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語 「なんていおうかな」</li> </ul>

第4週

・休み時間の過ごし方

◎ 先生たちに聞きたいな(思いや願い)

他の先生とも仲良くなりたいよ  
お話をしたいな

◎ 先生たちにインタビューしよう(体験)

あいさつをしよう・何をしている先生かな・どこにいる先生かな

◎ 先生から聞いて分かったことを伝えよう(表現)

学校にはたくさんの先生がいたよ  
みんなに伝えよう

◎ 教えてもらったところを見に行こう(まとめ・感じる, 考える)

学校のことがたくさん分かったよ

◎ もっと遊びたいな(思いや願い)

順番を守ろう

◎ どんなことをしたか教えあおう(表現)

仲良く遊べたよ  
6年生と遊んだよ

通学路を歩こう

◎ 何があるかな, どんな人にあえるかな(気付き)

通学路の危ない場所や, 安全を守ってくれている人が分かったよ

◎ 交通指導員の方に, お礼の手紙を書こう(表現)

お礼の言葉をみんなで作って, わたしたよ

・体育  
「たのしくあそぼう」

・学活  
「元気なあいさつ」

・国語  
「えんぴつを持って書いてみよう」

・国語  
「えんぴつを持って書いてみよう」

第5週以降



平成30年度『三保小学校 スタートカリキュラム』

〈第1週〉学校大好き はじめまして学校（学校生活の様子を知ろう）

			4月12日(木)	13日(金)
8:30 朝の活動	※吹き出しの中の番号は「スタートカリキュラム編成の基本姿勢」の番号に準ずる			なかよしタイム 歌・ゲーム・読み聞かせ
8:50 1校時 9:35			【行】 10:00～ 入学式 10:40～	【学・生】 あいさつ・へんじをしよう 道具のしまい方・靴箱・傘立ての使い方
9:40 2校時 10:25			学級開き 学校の名前 担任の名前 自分の席	【国・生】 自己紹介をしよう トイレや手洗い場の使い方・休み時間の過ごし方
10:45 3校時 11:30			11:30～ 集合写真	【学】 給食のお話 手を洗おう・お盆にナプキンをしこう
11:35 4校時 12:20				【生・算】 下校コースの確認 なかま集め
給食時間			小学校で初めての給食	帰りの指導
自問清掃				下校時刻
14:05 5校時 14:50				13:30 見送り指導
下校指導				

〈今週のねらい〉学校生活の様子が分かる

- 学習活動
- ・入学式には、子供も保護者も安心して次の日から登校できるように、職員一同があたたかく迎える。
  - ・受付は幼稚園の職員が行い小学校入学のお祝いの喜びを共有する。
  - ・6年生が新1年生につきそい、トイレなどのお世話を行い、安心感をあたえる。
  - ・二日目の「なかよしタイム」では幼稚園で遊んだ歌やゲーム等を取り入れる。
- 学習環境
- ・学校生活を送る中で、欠かせない場所(トイレ・手洗い場・ロッカー・靴箱・傘立て等)の使い方やおおまかな学校のきまりを捉えられるようにする。
  - ・給食開始にともない、アレルギー等の確認をする。なお、準備は教師と6年生が行う。

教科等	時間数
国語(書)	0.5
生活	1.5
算数	0.5
音楽	
体育	
図工	
道徳	
学活	1.5
行事	4
合計	8

〈第2週〉学校大好き はじめまして学校 (じぶんで できるようになろう)

	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)
8:30 朝の活動	登校したら荷物の整理・トイレ, 席についてお絵かき・読書 なかよしタイム				
8:50 1校時	【国・生】 はじめて書く自分の名前	【音・生】 歌を歌う	【生】 学校たんけん③	健康観察・1日の予定確認	
9:35 2校時	【国・生】 はじめて書く自分の名前 ②教室の後ろに低テーブルを置き, 自主的に活動	【音・生】 歌を歌う	【生】 学校たんけん③	【音】 歌でなかよし	【音】 歌でなかよし
10:25 3校時	【国・生】 はじめて書く自分の名前 ②モジュールにわける	【音・生】 歌を歌う	【生】 学校たんけん③	【音】 歌でなかよし	【音】 歌でなかよし
10:45 3校時	【国・生】 はじめて書く自分の名前 ②モジュールにわける	【音・生】 歌を歌う	【生・算】 校庭たんけん 遊具の使い方 10までの数	【音】 歌でなかよし	【音】 歌でなかよし
11:30 3校時	【国・生】 はじめて書く自分の名前 ②モジュールにわける	【音・生】 歌を歌う	【生・算】 校庭たんけん 遊具の使い方 10までの数	【音】 歌でなかよし	【音】 歌でなかよし
11:35 4校時	【学】 手を洗おう お盆にナプキンをしく マスクをして6年生が準備するのをよく見よう	【生・図】 みなさん よろしく	【算】 かぞえて遊ぼう	【算】 かぞえて遊ぼう	【算】 かぞえて遊ぼう
12:20 4校時	【学】 手を洗おう お盆にナプキンをしく マスクをして6年生が準備するのをよく見よう	【生・図】 みなさん よろしく	【国】 えんぴつの持ち方	【国】 えんぴつで線を書こう	【国】 えんぴつでなぞろう
給食時間	楽しい給食				
自問清掃	自分の場所をきれいにしよう				
14:05 5校時			【音】 手と手であいさつ ちょうちよ	【算】 なかまをつくろう	参観授業 【国】 えんぴつを持って書いてみよう
14:50 5校時			【音】 手と手であいさつ ちょうちよ	【算】 なかまをつくろう	参観授業 【国】 えんぴつを持って書いてみよう
下校指導	見送り指導	見送り指導	一斉下校		

〈今週のねらい〉楽しく意欲的に学校生活を送ることができる

- 学習活動
- ・「なかよしタイム」では, 幼稚園で遊んだ歌やゲーム等を取り入れる。
  - ・学校を探検する生活科を中心にした活動を, 一日の早い時間に設定することで, 学校の様子が分かり, 楽しい気持ちで過ごせるようにする。
  - ・登校したら, 自分で荷物を片付けたりトイレ等を済ませたりさせて, 落ち着いて1日をスタートできるようにする。
  - ・教室の後ろで, 友だちと一緒に本を読んだり絵を描いたりするワークスペースとして, 低テーブルを準備する。
- 学習環境
- ・生活科と国語科の合科的な指導で, 他園からの友だちと仲良くなれる場(自分の名前, 自己紹介)を設定する。また, 算数, 体育, 図画工作, 音楽でも「学校探検」と合科的に指導する。
- 合科的  
関連的な  
指導

教科等	時間数
国語(書)	4.5
生活	7
算数	4
音楽	2.5
体育	2
図工	1.5
道徳	
学活	1.5
行事	
合計	23

〈第3週〉友達といっぱい遊ぼう（友だちと仲良く過ごそう）

③活動や時間等が視覚的に確認できる

	23日(木)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	
8:30 朝の活動	 <p>あさのしゅんぴ 1. れんらくちょう・しゅくだいをだす。 2. にもつをひきだしにのける。 3. らんどせるをかたづけける。 4. といれ・みずのみをすませる</p>	登校したら荷物の整理・トイレ、席についてお絵かき・読み聞かせ なかよしタイム 教職員による自己紹介と読み聞かせ				朝のあいさつと健康観察・1日の予定確認 
8:50 1校時	【音】	【生・図】	【国・生】		【生】	
9:30	②④1, 2校時は合科的な学びの充実	学校たんけん④ グループにわかれてたんけんに行こう	声の大きさどうするの		学校たんけん⑦ 先生たちに聞いたいな	
9:40 2校時	【道】		学校たんけん⑤ 分かったことを発表しよう		【国】	
10:25		見つけたものを絵にかこう		②④1, 2校時は合科的な学びの充実	なんていおうかな	
10:45 3校時	【国】	【国】	【国】		【体】	
11:30	「あさ」 なまえの練習	なんていおうかな	うたにあわせて あいうえお	かずあそび かずとすうじ 10までのかず	たのしくあそぼう はしる とぶ	
11:35 4校時	【算】	【算】	【算】	【国】	【学】	
12:20	かずあそび かずとすうじ 5までのかず	かずあそび かずとすうじ 5までのかず	かずあそび かずとすうじ 10までのかず	なんていおうかな	元気なあいさつ	
給食時間	楽しい給食					
自問清掃			自分の場所をきれいにしよう			
14:05 5校時	【道】	【国】				
14:50	せいりせいとんが できているかな	読み聞かせ				
下校指導			家庭訪問	家庭訪問	家庭訪問	

〈今週のねらい〉友だちと仲良く過ごすことができる

- 学習活動
- ・「なかよしタイム」では、毎日教職員が交替で、絵本の読み聞かせやお話で1年生の子供たちとの交流を行い学校全体で子供たちに関わっていく。
  - ・登校したら、荷物を片付けたりトイレ等を済ませたりすることを理解し、落ち着いて1日をスタートできるようにする。
  - ・生活科の「学校探検」と関わりのある他の教科等の授業時間を、子供の実態に合わせ、柔軟に対応していく。
- 学習環境
- ・教室の後ろで、友だちと一緒に本を読んだり絵を描いたりするワークスペースとして、低テーブルを準備する。
- 合科的  
関連的な  
指導
- ・一日の活動の流れを朝の活動で確認し、見通しを持つことができるようにする。
  - ・生活科「学校探検」と、国語科、図画工作科を合科的に指導する。

教科等	時間数
国語(書)	5.5
生活	5
算数	4
音楽	1
体育	2
図工	0.5
道徳	2
学活	1
行事	
合計	21

〈第4週〉学校のきまりを守ろう（きまりを守って 落ち着いて過ごそう）

②教職員全体で読み聞かせ

	30日(月)	5月1日(火)	2日(水)	
8:30 朝の活動	ふりかえ休日	登校したら荷物の整理・トイレ、席についてお絵かき・読書 なかよしタイム 教職員全員による自己紹介と読み聞かせ 朝のあいさつと健康観察・1日の予定確認		みどりの日  念日
8:50 1校時		【生】 どの花を そだてようかな	【学】 対面式 みなさんよろしく	
9:35				
9:40 2校時		あさがおのたねを絵にかこう	【行】 お迎え遠足	
10:25				
10:45 3校時		【国】 歌にあわせてあいうえお	6年生と手をつないで歩こう	
11:30				
11:35 4校時		【算】 10までのかず	みんなとお弁当を食べよう 一緒に遊ぼう	
給食時間		楽しい給食		
自問清掃		自分の場所をきれいにしよう		
14:05 5校時		安全に気を付けて帰ろう		
14:50				
下校指導		家庭訪問		



〈今週のねらい〉きまりを守って 落ち着いて過ごすことができる

学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校したら、荷物を片付けたりトイレ等を済ませたりすることを理解し、落ち着いて1日をスタートできるようにする。</li> <li>「なかよしタイム」では、毎日教職員が交替で、絵本の読み聞かせやお話で1年生の子供たちとの交流を行い、学校全体で子供たちに関わっていく。</li> <li>対面式やお迎え遠足で全校の子供たちと関わることで、学校生活の楽しさや安心感を持たせる。</li> </ul>
学習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の後ろで、友だちと一緒に本を読んだり絵を描いたりするワークスペースとして、低テーブルを準備する。</li> <li>給食当番の仕方を理解し、自分たちで準備して楽しく食べることができる。</li> <li>下校や連休中の安全な過ごし方を確認する。</li> </ul>

教科等	時間数
国語(書)	1
生活	2
算数	1
音楽	
体育	
図工	
道徳	
学活	
行事	5
合計	9

〈第5週〉たのしい がくしゅう（楽しく学習しよう）

	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)
8:30 朝の活動	登校したら荷物の整理・な か ム 教職員全員による自己紹介と読み聞かせ 朝 読書 絵かき・読書 察・1日の予定確認				
8:50 1校時 9:35	【生・図】 朝顔のたねをまこう	【国】 絵を見て話そう	【国】 かきとかぎ	【道】 やくそくやきまりを まもって	
9:40 2校時 10:25	朝顔のたねまきを 絵にかこう	【音】 めだかのがっこう こぶたぬきつねこ	【体】 おにあそび	【体】 てつぼう おにごっこ	
10:45 3校時 11:30	【国】 ことばをつくろう	【算】 かずとすうじ	【算】 かずとすうじ	【生・国】 先生たちに聞きたいな⑧	【国】 花の道
11:35 4校時 12:20	【算】 かずあそび	【生】 朝顔の世話をしよう	【国】 かきとかぎ	インタビューに いこう	
給食時間	楽しい給食				
自問清掃	じもんせいそうのしかたを知ろう		じもんせいそうのしかたを知ろう		
14:05 5校時 14:50		【書】 ひらがなの練習	【学】 そうじのしかた	【国】 あさのおひさま	【音】 さんぽ なまえあそび
下校指導	市教育課程研				

②教職員全体で読み聞かせ

②④生活科と図画工作科の合科

③主体的な学習ができる環境

〈今週のねらい〉これからの学習に興味を持つことができる

- |        |  |
|--------|--|
| 学習活動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>登校したら、荷物を片付けたトイレ等を済ませたりすることを理解し、落ち着いて1日をスタートできるようにする。</li> <li>「なかよしタイム」では、毎日教職員が交替で、絵本の読み聞かせやお話で1年生の子供たちとの交流を行い、学校全体で子供たちに関わっていく。</li> <li>授業時間は子供のペースに合わせて、しばらくは柔軟に対応しながら45分授業に移行していく。</li> </ul> |
| 学習環境   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教室の後ろで、友だちと一緒に本を読んだり絵を描いたりするワークスペースとして、低テーブルを準備する。</li> </ul>   |
| 合科的    | <ul style="list-style-type: none"> <li>一日の時間配分や休み時間の過ごし方にも慣れるよう配慮する。</li> </ul>  |
| 関連的な指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律や道具の準備を確認し学習に落ち着いて取り組めるよう指導する。</li> <li>生活科と国語科、図画工作科を合科的に指導する。</li> </ul>  |

教科等	時間数
国語(書)	8.5
生活	4
算数	4
音楽	2
体育	3
図工	0.5
道徳	1
学活	1
行事	
合計	24

## 6 まとめ

昨年度、幼稚園や保育園との学びを小学校でどのように生かし、伸ばしていくかを考え、スタートカリキュラムの大幅な見直しを行った。今年度、教職員全員での読み聞かせや、なかよしタイムの設置など新たな活動の場を設定したり、具体的なカリキュラムを実践したりしていく中で成果と課題が見えてきた。

### 【成果】

- 幼小の連携を密に行い、子供たちの実態を把握した上で、スタートカリキュラムの計画を立てることができたので、園から小学校への移行がスムーズにできた。
- 職員全体で保幼小連携やスタートカリキュラムについて共通理解ができたので、読み聞かせ等学校全体で1年生の子供たちと関わることができた。

### 【課題】

- 子供たちの発達段階を十分に踏まえた上で、活動や時間等を視覚的に確認できる環境をその都度見直していくなど、また来年度に向け計画を見直していかななくてはならない。